

事業所名 運動療育型児童デイぼうらの樹東住吉

支援プログラム（参考様式）

作成日 R6 年 9 月 7 日

法人（事業所）理念		笑顔をはぐくみ笑顔をつなぐ					
支援方針		理学療法をはじめボールやマットを使う運動療育で身体機能の向上や、日々の集団療育でコミュニケーション能力の向上を促し、自立した生活の獲得を目指します。また、一人ひとりの児童に応じた「オーダーメイド療育」を行うことによってご利用者様のご要望にお応えします。					
営業時間		12 9 時	0 30 分から	18 15 時	0 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支 援	健康・生活	健康面：日々の食生活の確認や助言で体力づくりを行う。個人個人のアレルギーに注意し手洗い・うがいなどの感染症対策による体調管理を行う。 服薬の管理も保護者様と連携しながら行い、児童にも服薬管理ができるように助言を行う。 生活面：日常生活動作（ADL）・手段的日常生活動作（IADL）の評価を随時行い保護者様との情報を擦り合わせて支援内容の共有・自立に向けた支援を行う。					
	運動・感覚	運動面：理学療法士による専門知識を用いた支援プログラムを作成し、身体に課題のある児童や肥満傾向の児童に運動を駆使したサービスを行う。 日々決まったルーティン活動を行い身体能力の向上を目指し、毎日の行事の中でも楽しい運動を取り入れて新たなスキルの獲得を目指す。 感覚面：五感に沿った療育を提供する。主に空間認識・把握能力を身につけることができるように療育を行う。					
	認知・行動	認知面：児童の気持ちや感じているを傾聴し共有することで信頼関係を築き、課題点の洗い出しと物の見方の提示やアドバイスをを行うことで課題の克服、減少に繋げていく。 行動面：認知面を踏まえ良い行動・悪い行動の理解を促す療育やスケジュールの見える化を行うことで一日の流れで次の行動を素早く行えるように療育を行う。					
	言語 コミュニケーション	言語面：発語に遅れが見られる児童も、一人一人に合ったメニュー（挨拶や日々の活動内）で発語を促し言語レベルアップを目指す。 コミュニケーション面：友達の輪や他者と円滑な関係を築けるように、集団療育を通じてコミュニケーションを学び自己発信できるように促す。					
	人間関係 社会性	人間関係面：お友達とトラブルになった際など、支援員が仲裁に入りどうすれば解決できるのかを一緒に考えて適切な人間関係を築けるように促す。 社会性：日常生活の自立に向けて自身で出来ることが増やせるように、整理整頓や挨拶など習慣化して行えるように促す。					
家族支援		日頃の送迎時にもご家族様と密にコミュニケーションをとり、また必要に応じてご家庭の状況を伺いご家族様に安心していただけるように面談や助言をいたします。当事業所で出来る限りのサービスを行います。			移行支援	ご利用者様・ご家族様のご希望をお伺いし、出来る限りご希望に添えるように卒業後の就職や法人内での生活介護・就労継続支援B型への円滑な移行が行えるよう連携を取っています。	
地域支援・地域連携		ご利用者様の安心した生活を守るために地域の機関・地域の方と密に連携をとっていきます。 地域で行っている研修や連絡会積極的に参加しています。			職員の質の向上	毎週の会議にて療育・支援の方向性を固めることや、年間研修スケジュールに沿った研修を計画的に行い職員の療育・支援レベル、質の向上を図っています。	
主な行事等		白ゆり祭り・スポーツ大会・サッカー大会の行事があります。また、法人内の生活介護や就労継続支援B型と連携をとり体験会も適宜行っています。 法人で管理している畑では水やりや土の手入れ、収穫作業などの農業体験を行っています。 また、事業所内では主にボールやカラーコーンを使い身体を動かす行事や、工作や実験など感性豊かにする行事も取り組んでいます。 カレンダーにある行事や季節に基づいてお花見、水遊び、ハロウィンやクリスマスなどのイベントも取り入れております。					